

# <多治見空手道教室だより>

R1.5.2

天皇陛下の退位による、「平成」から「令和」への改元は、江戸時代の光格天皇以来、202年ぶりのことだと言うので、誰もが初めて経験することで、4月30日の退位の礼と5月1日の即位の礼は、テレビを食い入る様に見ながら、国民に寄り添って下さった天皇陛下と皇后陛下に深く感謝し、新天皇も前天皇と同様に国民に寄り添い、世界の平和を望んで下さるとのお言葉に、戦中生まれの私は平和の大切さを知っているので、「令和」でも世界の平和が永く続いて欲しいと強く思いました。

今日のお便りは拳和会春季昇段試験の結果をお伝えします。

## 記

### 1. 拳和会春季昇段試験 4/28(日) 拳和館本部道場

**【少年部】初段中：中山結衣、2段中：高倉滉生、3段上：灰塚遙音、3段中：杉森心春、服部晏奈**

**【一般部】2段：西川原摩光登、5段：吉田順子**

少年部は基本や形は文句なしに上の力がありましたが、女子の組手で結衣は相手に遠慮した様な突きで、随分手前で止めてしまうのでポイントにならないし、心春と晏奈はとても近い間合いで、手だけを出している様な突きなので、こちらも技として取って貰えず、審査の先生からは組手が良ければ上にしたのにと言われました。

滉生と遙音は組手もそれなりに良い動きだったし、遙音は私は自分の生徒なので中を付けましたが、他の先生は上を付けてくれました。

西川原さんのセイエンチンは少し早いと言う感じでしたが、マツムラローハイで微妙に間違いましたので、本人も諦めていましたが、審査の時に最初の審査員に間違いましたねと言われ何人かが同意したので、同席した私が「本人も分かっているのだから、落としてくれても良いですよ」と言ったところ青島先生は審査員では無いので審査員に任せて下さいと言われ、結局宗家が平成最後の昇段試験だからと言って「合格」になりました。

ことごとく他の微妙な人も全員合格になり、午後からの少年部も平成最後だからと、落ちては仕方ない人まで合格になり、救世主西川原に助けられた人も5~6人はいた筈です。

今回一般部では高段者が大勢受験し中でも、5段受験の吉田先生はアーナンとコウソウケンショウをビシッと決め、柴田さんとの分解もとても上手にやりました。

昇段試験の前に高段者の特別昇段の発表があり青島も7段の認定証を貰いました。



結衣基本

遙音基本1

晏奈基本1

心春基本1

結衣バツサイ



滉生セイエンチン・Mローハイ

遙音ニーバイボ・アーナン

晏奈・心春ニーバイボ



晏奈・心春 チャタンヤラ

結衣中段突き届かず

滉生中段蹴り不発





遙音踏み込んだ中段突き

晏奈・心春の間合い無し組手

西川原:セイエンチン・Mローハイ



吉田:アーナン

コウソウクンショウ

コウソウクンショウの分解



コウソウクンショウの分解

コウソウクンショウの分解

コウソウクンショウの分解

発行責任者: 青島 忍

携帯090-2344-5933

Eメール: aoshimas@bronze.ocn.ne.jp